

## ■環境保全活動の「3つの柱」

当行では、以下の活動を「3つの柱」と位置づけ、環境保全活動に取り組んでいます。

<b>1</b> 銀行本来業務による 環境保全活動 環境配慮型金融商品販売を通じて お客さまの環境改善へ貢献する	<b>2</b> 自らの環境負荷 低減活動 省エネ・省資源に努め環境負荷 低減とコスト抑制を図る	<b>3</b> 地域貢献と 環境教育の充実 環境ボランティア活動などを 通じ地域貢献に努める
---	---	--

### ➡【3つの柱 ①】「銀行本来業務による環境保全活動」

#### ◆ 環境配慮型金融商品・サービスを通じた二酸化炭素排出量削減寄与量

〈2021年度実績〉

資金・商品・サービス名		新規ご契約数・金額など	CO <sub>2</sub> 排出量削減寄与量(※1) (単位:トン-CO <sub>2</sub> )
融 資	再生可能エネルギー関係	48件 / 9,998 百万円	315,522
	エネルギー関連(省エネ設備資金等)	245件 / 15,077 百万円	
	環境関連設備購入資金	101件 / 5,625 百万円	
	再エネ・省エネに資する事業を行う企業向け融資	41件 / 14,374 百万円	
	合 計	435件 / 45,074 百万円	
	マイカーローン(エコ型)	555件 / 1,142 百万円	403
サ ー ビ ス	EB(コンピュータ・パソコンサービス、業務支援サービス、ネットEB、インターネットバンキング)	33,773 件(※2)	743
	ISO14001コンサルティング	46 先	9,200
合 計			325,868

環境関連融資(私募債含む)資金使途例

エコカー購入資金、排気ガス軽減対応トラック購入資金、太陽光発電システム購入資金、LED照明設備購入資金、省エネルギー型空調設備購入資金、環境配慮型建物建設資金(工場、アパート等) など

※1: CO<sub>2</sub>排出量削減寄与量は、当行独自に設けた算定基準に基づき算出 ※2: 前年度比での純増件数

#### 「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」

当行は環境省が主導する「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」に署名しており、本原則の運営委員および「預金・貸出・リース業務」ワーキンググループ座長を務めています。



### ➡【3つの柱 ②】「自らの環境負荷低減活動」

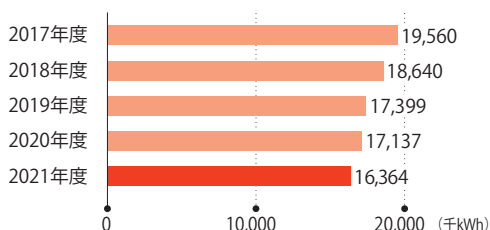
#### ◆ 温室効果ガス排出量の削減

温室効果ガス排出量の削減のため、当行の温室効果ガス排出量の約70%を占める電気使用量削減を積極的に行っています。本店・営業店の照明LED化や一部店舗では再生可能エネルギー由来の電気(バイオマス発電・長野県内の水力発電)の利用を開始しています。2021年10月に新築した岩村田支店は、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)店舗とし大幅な省エネルギーを実現しました。



当行初のZEB店舗(岩村田支店)

#### 【電気使用量】



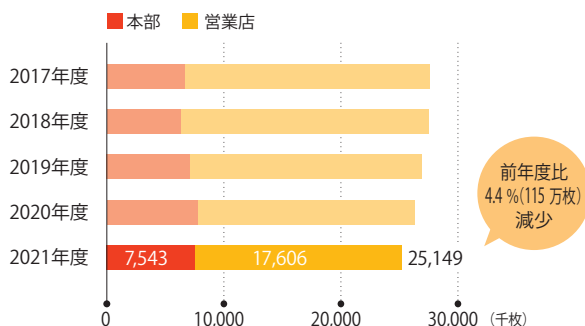
#### 【再生可能エネルギー由来電気の調達状況】

	設置・利用施設数	年間調達量(概算)
太陽光発電システム設置	岩村田支店など9施設	170千kWh
信州Green電気	大門町支店など6施設	661千kWh
バイオマス発電由来電気	浅川若槻支店など2施設	166千kWh

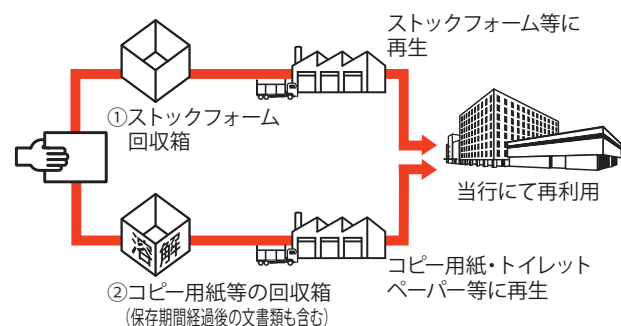
### ◆ 紙使用量(コピー用紙等)の削減とリサイクル

1991年に銀行界で初めて構築した機密文書などの「古紙回収・再生・利用」の一環システムにより年間排出される約340トンの紙をトイレtpーパーなどに再生したうえで購入し、積極的に利用しています。

【紙使用量(コピー用紙等)】



【「古紙回収・再生・利用」の一貫システム】



## ◆ 【3つの柱 3】 「地域貢献と環境教育の充実」

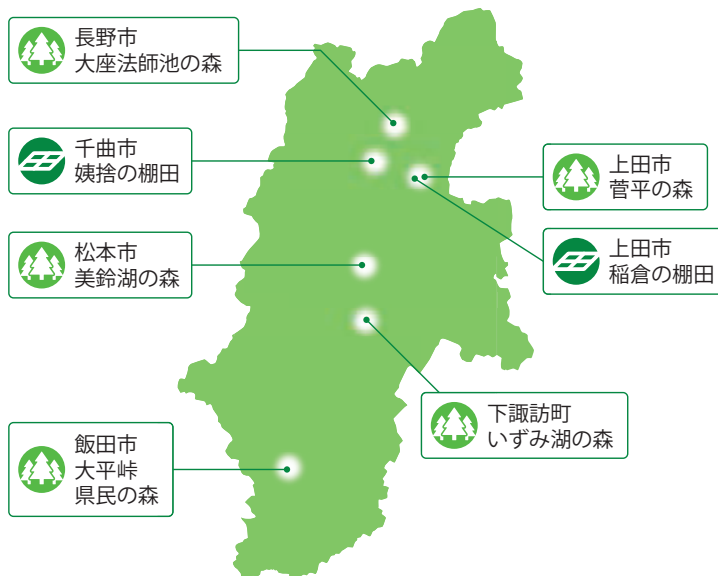
### ◆ 環境ボランティア活動

#### ● 「八十二の森」活動

2009年から長野県の森林を守るため「八十二の森」活動を実施しています。現在では、長野県内5か所を活動拠点とし、役職員が森林整備ボランティアに参加しています。

#### ● 棚田保全活動

当行創立90周年記念事業の一環として棚田保全活動を実施しています。千曲市姨捨と上田市稲倉の長野県内2か所で役職員が稲作に取り組んでいます。



### ◆ Topics Kids'ISOプログラム(キッズ・アイエスオー:子どものための環境教育プログラム)の実施

これまで長野県内外の小学生約1,000名に、Kids' ISOプログラムを実施しました。また、2008年度からは長野県の「キッズ ISO プログラム事業」に協力し、ワークブック購入資金の支援などを行っています。

2021年度は小学生延べ260名の環境教育に貢献しました。子どもたちが家庭のリーダーとして省エネ・省資源活動を実施することで、子どもたちの行動が変わるだけでなく、保護者の環境に対する意識も向上したと好評をいただいています。

